

文学座公演

殿、踊りましょうぞ

# 殿様と私

出演

加藤 武  
 たか お鷹  
 沢田 冬樹  
 佐川 和正  
 星 智也  
 寺田 路恵  
 宮沢 亜古  
 松山 愛佳

美術 奥村 泰彦  
 照明 金 英秀  
 音楽 上田 亨  
 音響効果 中嶋 直勝  
 衣裳 山田 靖子  
 振付 室町あかね  
 舞台監督 寺田 修  
 演出補 北 則昭  
 制作 白田 聡

作 〓 マキノノゾミ  
 演出 〓 西川信廣



## 旭川市民劇場10月例会

会場 = 旭川市公会堂  
 旭川市常盤公園内  
 ※公会堂が新しくなりました

10月16日 (水) 6:30

10月17日 (木) 1:30、6:30

◇会員募集中!一緒に観劇しませんか?  
 ◇詳しくは旭川市民劇場 (TEL.23-1655  
 住所:旭川市3条通8丁目緑橋ビル1号館2F) まで!





# 殿様と私

第15回読売演劇大賞優秀作品賞受賞  
第15回読売演劇大賞優秀男優賞受賞(たかお鷹)  
2007年度文化庁芸術祭賞大賞受賞(たかお鷹、演劇部門)

作 マキノゾミ  
演出 西川信廣



*Shall We Dance? Quick Quick, Slow! Quick Quick...*

1886年(明治19年)、東京・麻布鳥居坂の白河義晃子爵邸。当主の白河義晃は急速に西洋化する日本になじめず、酒浸りの日々を送っていた。ある日、外務卿・井上馨の書生と白河家の家令雛田源右衛門の間に一悶着が起きた。雛田は時代おくれのちょん髷をからかわれたばかりか、因循姑息な白河子爵は華族の資格なしと罵倒されたのである。

それを聞いた義晃は怒り心頭に発し、これまた時代おくれの討ち入りを決意。しかし、白河家を守るには鹿鳴館に乗り込み、見事なダンスを披露して和魂洋才の手本を示すこと>という息子義知の提言に、お家のためならやむを得ずと渋々承知の義晃。米国人のアンナ・カートライト夫人を指南役に、義晃のダンス修行が始った。さて、その成果は…。



加藤 武



たかお鷹



沢田冬樹



佐川和正



星 智也



寺田路恵



富沢亜古



松山愛佳

美術/奥村泰彦 照明/金 英秀 音楽/上田 亨 音響効果/中嶋直勝 衣裳/山田靖子 振付/室町あかね 舞台監督/寺田 修  
演出補/北 則昭 制作/白田 聡 宣伝写真/飯田研紀



## マキノゾミ

1959年生まれ、静岡県出身。

劇作家、脚本家、演出家。

1984年劇団M.O.P.結成、2010年解散公演まで主宰を務める。代表作に『MOTHER』、『東京原子核クラブ』、『フユヒコ』、『高き彼者』、『黒いハンカチーフ』、『赤シャツ』等多数。これら作品により、読売演劇大賞や紀伊國屋演劇賞といった各賞を多数受賞。多くの作品が様々なカンパニーにより、全国演鑑連の例会として巡演している。

## 鑑賞団体の皆様へ

今年は、『殿様と私』例会でお世話になります。

この作品は、明治維新とともに西洋化する日本になじめない殿様と、米国人女性アンナとの心の交流を縦軸に、様々な登場人物たちが織りなす出来事を笑いと涙で綴ったマキノゾミ会心の一作です。お陰様で好評のうちに再演を重ねること出来、残すブロックも僅かとなりました。今回、北海道・中部北陸・近畿ブロックでの例会が実現したことで、ほぼ全国を周る事になります。東京だけでなく、全国各地で公演出来ます事は、その座組みにとって大きな糧となり、劇団が創造活動を続ける財産となります。運営担当サークルの皆様をはじめ、全ての会員様と共にいつまでも心に残る例会を創ってゆきたいと思います。『殿様と私』にどうぞご期待下さい。